

当社が協賛した神戸市新長田地区の大正筋商店街「大正筋アートミュージアム」シャッターアート

プロジェクトに関する記事が「毎日新聞」に掲載されました。

掲載日：2021年11月18日

掲載紙：毎日新聞

# 思わず立ち寄りたくなる!!



## 長田の大正筋商店街

JR新長田駅近くの「大正筋商店街(神戸市長田区)」で、全60店舗のシャッターを色鮮やかな絵で彩るプロジェクトが進んでいる。企画した商店街理事の広田恭佑さん(34)は「アートを名物にして、立ち寄ってみたいくなる商店街にしたい」と意気込んでいる。

【中田敦子】

商店街を含む新長田地区は、市の再開発で駅前地区は、1995年シミュレーション建設が進んでいない。年の阪神大震災で約900棟あった建物の8割以上が全焼か全半壊する壊滅的な被害を受けた。店街の売り上げは低迷。8月、理事に就任。「復興

## シャッターアート名物に

「大きくなる成長する商店街」と銘打ったプロジェクトは同年初に始動。賛同を得た13店舗のシャッターをプロ・アマ13人のアーティストが思い思いの絵で彩った。市職員の三名あしさん(37)と同市東灘区IIは洋服店に川や魚、花や植物をパステル調で描いた。制作中に多くの通行人から声をかけられたという。三名さんは「新長田は多国籍の人との共存やアートに力を入れており、とても個性的な場所。ぜひ立ち止まって絵を見てほしい」と話している。

## 震災後にぎわい戻らず——明るく彩りへ

「大正筋商店街を明るく彩りたい」と語る同商店街理事の広田恭佑さん(左)と三名あしさん(神戸市長田区のアスタくにつかろ善堂で

広田さんには「夜に商店街を一人で歩いても明るくて安心できる」などと好意的な声が多く寄せられているという。順次、シャッターアートを増やす計画で、広田さんは「商店街を明るく彩りたい」と話している。